




土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 二級河川 沼田川水系 杵原川 広域河川改修事業に伴う設計業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名		Bor. No. 1		調査位置		広島県東広島市高屋町中島地内						北緯		34° 26′ 45.4411″		
発注機関		広島県西部建設事務所東広島支所					調査期間		令和5年 5月 8日 ～ 令和5年 5月 9日				東経		132° 47′ 16.1857″	
調査業者名				主任技師			現 場 代 理 人		鑑 定 者		ボーリング責任者					
孔口標高		T. P. 210.24m		角 度		方位		地盤勾配		使用機種	試験機 東邦地下工機 D1-B					
総削孔長		10.00m									エンジン		ヤンマーディーゼル NFD-13		ポンプ	

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	地質記述	孔内水位／測定月日	標準貫入試験							試験採取		室内位置試験	削孔月日				
												深度－N値図							深	100mmごとの打撃回数			打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深
(m)	(m)	(m)										N値	度	度	値	(m)						(m)				
1	208.94	1.30		シルト混じり砂	SF	褐色	rd1		更新世	表層0.2mは砕石を多く含む硬質砂である。以深はマサ土からなる埋土であり、細粒分のやや多い、細～粗砂を均等に含む緩い砂である。	05/08 1.80	0	10	20	30	40	50	1	1	1	2					
2	208.39	1.85		シルト質砂	SF	赤褐色～暗褐色	rd1		更新世	腐植物が点在する、細粒分の多い細砂・中砂主体の緩い砂である。								2	1	1	2					
2	207.89	2.35		粘土質砂	SF	暗褐色～淡灰	rd1		更新世	上部は有機質な粘土質砂であり、最下部は淡灰色の火山灰質粘性土である。								2	1	1	2					
3	207.24	3.00		粘土混じり砂	SF	淡灰	rd1		更新世	流積マサ土状の、細粒分をやや多く含む細砂・中砂主体の砂である。								2	1	1	2					
4				強風化花崗岩	SF	淡灰褐色	rd3		後期白亜紀	等粒状の岩石組織が認められる、強く風化した中・粗粒花崗岩である。コアは風化により完全に土砂化した状態の割れ目の認識できない棒状コアであり、指で押さえると崩れてシルト混じり砂状になる。深度3.95mを境に色調が異なり、これ以深では所々で赤褐色化が見られる。								12	3	4	5	12	300			
5				強風化花崗岩	SF	淡灰褐色	rd3		後期白亜紀	深度4.7m以浅は岩石組織が不明瞭な粗粒花崗岩である。以深は岩石組織の明瞭な中粒花崗岩であり、N値は高くなる。								10	4	3	3	10	300			
6				強風化花崗岩	SF	淡灰褐色	rd4		後期白亜紀	（深度5m以浅はDL級岩盤、深度5m以深はDM級岩盤、砂・砂質土）								54	5	15	19	16	50	280		
7	203.24	7.00		風化花崗岩	Rm	淡褐色			後期白亜紀	N値50以上の風化花崗岩である。風化により全体的に軟質化が進んでおり、所々で赤褐色化が見られる。コアは指圧で崩れないしハンマーの撃打で粉々に砕ける硬さの割れ目の目立たない、柱状コアである。（DM級岩盤、軟岩I）								39	6	15	14	14	39	300		
8				風化花崗岩	Rm	淡褐色			後期白亜紀	深度9.7m以深はハンマーの打診でやや高い音を発する、比較的硬質な柱状コアからなる。（DM級岩盤、軟岩I）								56	7	15	20	13	50	270		
9				風化花崗岩	Rm	淡褐色			後期白亜紀	（深度5m以浅はDL級岩盤、深度5m以深はDM級岩盤、砂・砂質土）								115	8	10	10	30	50	130		
10	200.24	10.00		風化花崗岩	Rm	淡褐色			後期白亜紀	（深度5m以浅はDL級岩盤、深度5m以深はDM級岩盤、砂・砂質土）								65	9	23	18	13	50	230		
11				風化花崗岩	Rm	淡褐色			後期白亜紀	N値50以上の風化花崗岩である。風化により全体的に軟質化が進んでおり、所々で赤褐色化が見られる。コアは指圧で崩れないしハンマーの撃打で粉々に砕ける硬さの割れ目の目立たない、柱状コアである。（DM級岩盤、軟岩I）								1500	10	50	50	10	10			